

仙台総合ペット専門学校 「学校関係者評価報告書」

学校法人菅原学園 仙台総合ペット専門学校では、本校規程に基づき、令和2年10月30日（金）に、学校関係者評価委員会を実施いたしました。以下にその内容についてご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導等を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

開催日：令和2年10月30日（金）

場所：仙台総合ペット専門学校

参加委員：赤澤 暁昌（一般社団法人 全国ペット協会 事務局長）

（敬称略） 佐藤 裕美（Happy Clover）

黒沢 久美子（DOGSALON Karen 代表）

伊東 則道（伊達の街どうぶつ病院 院長）

渡邊 圭（有限会社ヨネヤマプランテーション ペットエコ仙台）

松本 久美子（ペットケア クレア仙台 代表）

同席者：加藤 朗（副校長）

菅原 学（飼育管理科 科長）

千葉 稚菜（トリマー・キャット科 教員）

苫米地 周子（動物衛生看護科 教員）

千葉 雅司（PRO DOG TRAINER・ドッグトレーナー科 科長）

仙台総合ペット専門学校 学校関係者評価委員会 報告

〈自己評価結果との対応関係〉

(1) 教育理念・目標

〈評価及び意見〉

学校が定める教育目標・育成人材像に加え、専門的な知識・技術をより高めるための重点目標を各科で設定し、計画的な指導に取り組んだ。このことについて今後も継続的な取り組みをするよう意見をいただいた。また、就職活動だけでなく学校生活全般で学校と保護者との連携をより一層、強めていくよう意見があった。

〈今後の取組等〉

昨年に引き続き「保護者向け就職セミナー」を実施する。そのなかで学校の教育活動とペット業界での就職について、ご家族の協力の必要性の説明を行う。

(2) 学校運営

〈評価及び意見〉

運営方針や意思決定機能は学園規定において明確にされ、有効に機能している。また、各種制度、諸規程に関しても整備がされており、適切に改正が行われている。

教育活動に関する情報もホームページで公開されており、学校の取組みについても理解できると評価をいただいた。

〈今後の取組等〉

SNS (LINE@、twitter) を利用した情報発信に引き続き力を入れ、より多くの方に学校の教育活動の現状、成果について知っていただくよう取組む。

(3) 教育活動

〈評価及び意見〉

ペットショップや動物病院での現場実習は実際の働き方のイメージを学生に持たせる上では良い効果を与えていると評価を頂いた。しかし、通常授業以外でも特別授業や動物イベントのサポートなど外部に出て勉強する機会をさらに増やす必要がある。教える教員も同様に外部との接触機会を増やし、常に最新の情報を学生に提供できるようにしておく必要がある。

〈今後の取組等〉

外部主催の特別授業や現場への挨拶など外部との接触機会を増やすため、年間スケジュールの中に取り込めるよう計画を立てる。

(4) 学修成果

〈評価及び意見〉

就職率や資格取得率、徐退学率の数字は悪くはないが前年度よりも下がっている。金銭的な事情による徐退学や学生の学力低下、メンタル的な問題など大変な状況ではあることは理解できるが、さらなる学生サポートを行う必要があると意見をいただいた。以前に比べ、学生が選ぶ就職先も福利厚生が整った安定した企業を選ぶ傾向が強くなり、学校からの指導の成果を感じる。

〈今後の取組等〉

資格試験については学生のレベルに合わせて対策の強化を行っていく。就職については就職活動時のトラブルや実習先でのトラブルなど、インターンシップに行かせるだけではなくインターンシップ終了後にも状況の聞き取りをし、学生への情報の発信の強化や振り返りに努めていく。

(5) 学生支援

〈評価及び意見〉

親御様への動物業界への理解を深めてもらう機会を継続的に行っているのは評価をいただいた。メンタル面での問題が増えてきている為、学校カウンセラーの利用促進にだけでなく、学生対応の方法を教員側も研修などを通じて学ぶ必要性を感じる。また、給付型奨学金や学園独自の修学支援など経済的サポートの強化も必要に感じる。Wi-Fiなどのネット環境の整備をしっかりと行うようにと意見があった。

〈今後の取組等〉

時間も教員数も不足している中、教員だけでは問題解決が難しい状況となっている。学校と家庭の連携強化を引き続き行い、カウンセリングの実施も周知させていく。国の教育支援制度など認定校の条件を満たせるよう環境整備を行っていく。時代に合わせたネット環境の充実も図っていく必要がある。

(6) 教育環境

〈評価及び意見〉

避難訓練の実施など継続的な活動は評価をいただいた。しかし、校舎自体の経年劣化が多くみられ、改修・改善の必要性を感じるとの意見がでた。

〈今後の取組等〉

引き続き避難訓練の実施は行う予定である。校舎の改修についても各科、何が必要か検討をしていく。

(7) 学生の受入れ募集

〈評価及び意見〉

本校の魅力や教育内容の説明をするパンフレットやその他の資料は分かりやすく作っており、良い評価をいただいた。少子化が進む中、進路決定が早期化している為、今後は中・小学校や外部施設への学

校説明や出前授業など行ってはどうかとの意見がでた。

〈今後の取組等〉

分かりやすい資料や説明の仕方については継続して改善を図っていく。福祉施設などからもイベントの依頼が来ることもある為、今後も外部の施設やイベントに積極的な参加を検討していく。

（８）財務

〈評価及び意見〉

経理規程にもとづき会計監査をはじめ、適切に運用されている。財務情報に関しては、ホームページの「学校情報公開」の中で公開している。

〈今後の取組等〉

特になし。

（９）法令等の順守

〈評価及び意見〉

法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がされている。

〈今後の取組等〉

引き続き、コンプライアンスの強化を行っていく。

（１０）社会貢献・地域貢献

〈評価及び意見〉

校舎周辺の清掃活動・盲導犬協会・保護センターでのボランティアなど継続的に行っている点は評価をいただいた。今後は福祉施設や小学校など外部への動物の魅力の発信を行う必要があると意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

継続してボランティア活動などの社会貢献・地域貢献を行っていく。

— 学校関係者評価委員会総評 —

総合的にみると非常に良い結果を出している。特に学生募集の点では少子化が叫ばれる中、学校全体として入学者が増えている点は日頃の教員の努力の結果だと思っている。しかし、現状に甘えることなくさらなる改善を行う必要も感じる。

外部との接触機会を学生はもちろん教員もさらに増やしていく必要は感じる。現状維持だけではなく新たな刺激が加わることでより高いレベルの教育を提供できる場としていただきたい。ネット環境の整備も早めに行う必要を感じた。